



新教材を積極的に採録し、充実したラインナップ  
各単元に同じテーマの文章が複数配列されているため、読み比べにも最適

1 論理国語への  
いざない



- 論理力と思考力……………野矢茂樹
- 納得の構造……………渡辺雅子
- 情報の「メタ」化……………外山滋比古
- ◆学びを広げる ビラミッドストラクチャーを活用する……………編集委員会
- ◆参考 論理構成のためのフレームワーク……………

2 情報社会を  
生きる！



- ネット上の発言の劣化について……………内田樹
- 忘れられる権利……………宮下紘
- 流言とメディア……………佐藤卓己
- ◆学びを広げる メディアとのつきあい方を考える……………岡野原大輔
- ◆参考 大規模言語モデルは新たな知能か……………

3 芸術を味わう



- 想像する芸術……………齋藤重矢
- 空白の意味……………原研哉
- ◆日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う……………野村萬斎
- 「敦」山月記「名人伝」……………中島敦『山月記』『名人伝』
- ◆参考 ミロのヴェーナス……………清岡卓行

4 環境問題を  
考える



- 世代間倫理としての環境倫理学……………加藤尚武
- 環境容量の中で生きる——「現代」とはどういう時代か……………見田宗介
- 人類による環境への影響……………鷺合いづみ
- ◆学びを広げる 人間と環境との関わりについて考える……………元村有希子
- ◆参考 「人新世」に生きる……………

5 言葉を  
見つめる！



- 言葉がつくる女と男……………中村桃子
- ◆いつもの言葉を哲学する……………古田徹也
- ◆夢は何語で見る？……………多和田葉子
- ◆学びを広げる 「カタカナ語」の使用について考える……………川口良・角田史幸
- ◆参考 カタカナ語は享受すべきか……………

6 科学技術  
問い直す



- 「なぜ」に答えられない科学……………池内了
- AI時代の「人間」……………堀内進之介
- AIの時代と法……………小塚荘一郎
- ◆学びを広げる 科学技術と人間との関わりについて考える……………伊藤亜紗
- ◆参考 人間を「機械」にする畏……………

7 心と向き合う



- 恐怖とは何か……………岸田秀
- 生命との関わり——精神科医として……………木村敏
- 「遅れ」という問題——「ころ」をめぐる……………柄谷行人
- ◆学びを広げる 「人の心」について考える……………夏目漱石『ころ』
- ◆参考 ネガティブ・ケイバビリティ——答えの出ない事態に耐える力……………帚木蓬生

8 市民社会を  
支える



- 「市民」のイメージ……………日野啓三
- 「である」ことと「すること」……………丸山真男
- 「自治」の力を耕す、〈ホモン〉の現場……………斎藤幸平
- ◆学びを広げる 選挙権を行使することの意義を考える……………
- ◆参考 国政選挙における年代別投票率について……………総務省

◆忘れられる権利  
一度インターネットに出た情報は半永久的に残されたままとなる。インターネットの世界において「忘れる」ことの必要性を述べた評論。

◆想像する芸術  
「世界がいつもと違って見えるようになる」アートの効力や醍醐味について論じた新しい芸術論。



ワシリー・カンディンスキー「黄・赤・青」(1925年)

◆日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う  
狂言師である筆者が、表現者としての自己欲求と伝統を継承する使命感について語る。QRコードから小説『山月記』を参照できるので、小説と関連づけた学習が可能。

◆環境容量の中で生きる  
ある種が急速に繁栄し、やがて安定平衡期に入るといふ生物の基本原則である「ロジスティック曲線」をもとに人間のあるべき姿を論じる。

◆いつもの言葉を哲学する  
そのものごとくジェンダーバイアスや、それぞれの言語が息づく文化の側面について論じた言語論。

◆AIの時代と法  
AIが急速に進化・普及する中で、法が技術に追いついていない問題について、「トロツキ問題」を例にして説いた「新しい時代の法律」。

◆「遅れ」という問題  
夏目漱石『ころ』の作品分析を通して、人間の心の「遅れ」、他者との関係について論じた文学評論。QRコードから小説『ころ』を参照できるので、小説と関連づけた学習が可能。

◆「自治」の力を耕す、〈ホモン〉の現場  
資本主義の「包摂」によって生産の手段や能力を失った現代が、かつての力を取り戻す方法を考える。入試頻出著者による社会論。